

政治経済学 I

第7回：選挙のタイミング

矢内 勇生

法学部・法学研究科

2015年11月18日



神戸大学



今日の内容

- 1 政治的景気循環：大統領制と議会制の違い
- 2 日本における景気循環と選挙
 - 議会をいつ解散するか
- 3 選挙タイミングを説明する理論
 - Smith (1996) の非対称情報ゲーム
 - Kayser (2005) の最適停止問題説

大統領制 vs. 議会制 [議院内閣制]



政治的景気循環

- 大統領制を前提にした理論的發展
- 大統領制：選挙時期は固定
- 選挙に合わせた景気循環
- **議会制** [議院内閣制] ではどうなる？
 - 選挙の時期は可変
 - 選挙の時期も「政策」の1つ

選挙と景気：どちらが原因？



政治的景気循環論

- 選挙が景気循環の原因
- 機会主義：選挙の前に好況が作られる
- 党派性：選挙（政権交代）後に景気が変化する

もう一つの可能性

- 景気循環が選挙を実施させる
- 政府：好況期（不況になる前）に選挙をしたい！

Q：どちらが正しい？

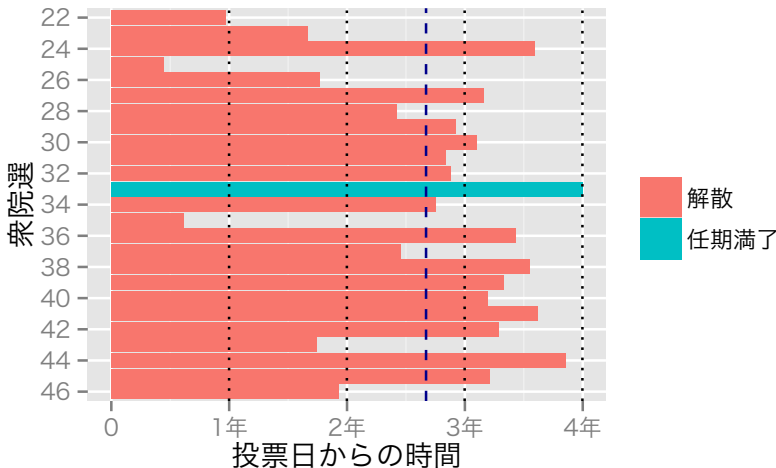
解散時期の選択



- 議会制では政府が議会を解散することができる
- 選挙の時期が選べる：いつを選ぶ？
- 投票モデルにおける政策の選択：得票（勝利確率）最大化を実現する政策
- **選挙時期：得票を最大化するタイミングを選ぶ？**

議会をいつ解散するか

日本の衆議院：総選挙から解散・任期満了までの期間



Inoguchi (1979) の「波乗り」仮説



Inoguchi, Takashi. (1979) "Political Surfing over Economic Waves: A Simple Model of the Japanese Political Economic System in Comparative Perspective." Paper presented at the meeting of IPSA, Moscow.

- 政府は政策を自律的に選択できない：官僚が経済を運営している
- 選挙前に景気浮揚政策を取れない
- 不況化で選挙はしたくない

景気が良いときに選挙（解散）を行う！：波乗り



Ito and Park (1981) による検証

Ito, Takatoshi, and Jan Hyuk Park. (1981) "Political Business Cycle in the Parliamentary System." *Economic Letters* 27: 233-238.

- 仮説 1：景気が良いときに選挙が行われる
- 仮説 2：選挙前に経済政策を操作して景気を改善させる
- 検証結果：仮説 1 のほうが日本の現実をうまく説明できる
- 固定相場制のときの話であり、変動相場制では成り立たない (Ito 1990 など)

日本：選挙によって景気が変わる（選挙のために経済を操作する）というより、景気によって選挙の時期が変わる（景気がいいときに選挙を行う）

日本の制度的特徴



二院制（両院制）の議会制デモクラシー

- 衆議院：任期4年、**解散あり**
- 参議院：任期6年、3年ごとに半数改選、**解散なし**

解散の有無が大事なら、景気循環との関係は衆院選と参院選で異なるのでは？

斉藤 (2010) による検証



斉藤淳. 2010. 『自民党長期政権の政治経済学』(勁草書房)

政府（自民党）が選挙に勝つために経済を操作するなら

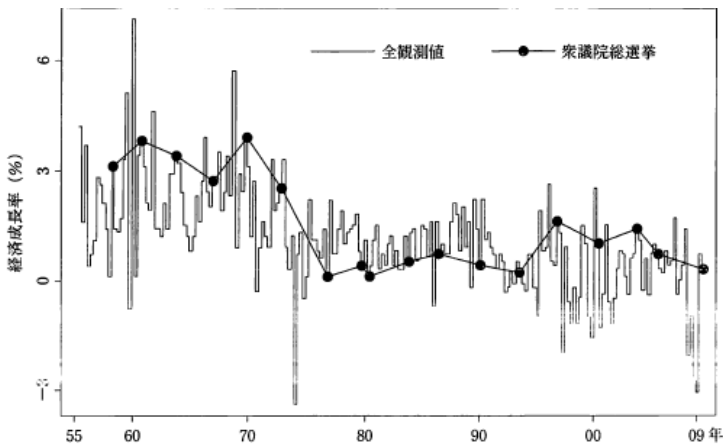
- 選挙直前に与党支持率が低いとき：選挙の時期に財政支出が増えるはず
- 選挙直前に与党支持率が高いとき：選挙による財政支出に違いは出ないはず

衆院と参院の違いも考慮に入れる

- 衆院：選挙の時期が選べる、(自民党の) 後援会が強い (監視機能が強い、情報収集力が高い)
- 参院：選挙の時期は選べない、衆院ほど後援会が強くない

議会をいつ解散するか

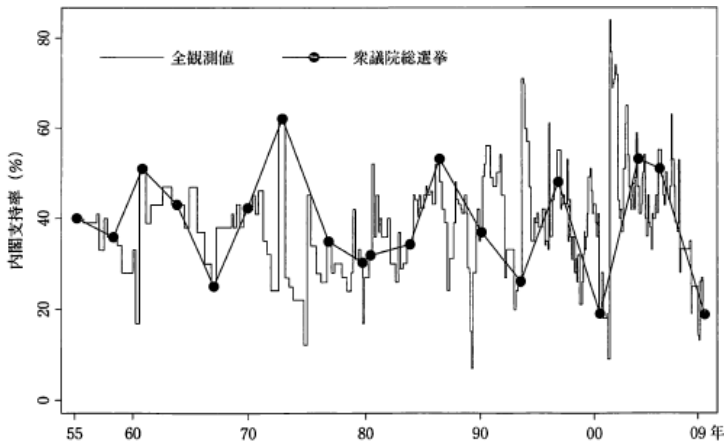
景気循環と衆議院選挙



出典：齊藤 (2010) p.88

議会をいつ解散するか

内閣支持率と衆議院選挙



出典：斉藤 (2010) p.88

齊藤 (2010) による検証結果



- 参院選で、与党支持率が低いとき、選挙期に政府の財政支出が増加する
- 参院選で、与党支持率が高いとき、選挙の時期による財政支出の変化は見られない
- 衆院選では、選挙の時期と財政支出の関係は観察できない
- 衆院選は、景気の最高点で（固定相場制のとき）または不況期を避けて（変動相場制のとき）実施される

衆院選は都合がいいタイミングで、参院選は（必要なら）機会主義的 PBC を生み出して選挙を実施している

Alastair Smith による選挙タイミングの研究



- 1996. “Endogenous Election Timing in Majoritarian Parliamentary Systems.” *Economics and Politics* 8(2): 85–110.
- 2003. “Election Timing in Majoritarian Parliaments.” *British Journal of Political Science* 33: 397-418.
- 2004. *Election Timing*. New York: Cambridge University Press.

選挙タイミングの情報非対称ゲーム：要約



- 情報の非対称性：政治家（政府）は自分の能力と将来のパフォーマンスを有権者より正確に把握できる
- 政治家は、自分の将来のパフォーマンスが下がりそうなとき（下がる前に）、選挙を選択する
- **不況になる前に、選挙が実施される可能性が高い**
- ただし、早期解散は自らの「無能さ」を有権者に伝えてしまう（シグナル）
- **好況・高い支持率が直ちに解散に結びつくわけではない**

情報非対称な選挙タイミングゲームの基本的な仮定



- 政府は、政権に留まりたい：選挙は政権喪失の危険を伴う
- 政府には「有能なタイプ」と「無能なタイプ」が存在する
- 政府は自分のタイプを知っているが、有権者は政府のタイプを知らない
- 有権者が観察するのは政府のパフォーマンス：パフォーマンスからタイプを推測する
- 他の条件が等しければ、有能タイプのほうが、無能タイプよりパフォーマンスが良い
- 政府は、有能なときのほうが自らの将来のパフォーマンスが高いと予測する

情報非対称な選挙タイミングゲームの基本的な予測



- 有能な政治家は、早期選挙を望まない
 - 将来まで選挙を延ばしても勝てるはず（パフォーマンスが良いと予測しているから）
 - 既に与えられている政権期間を無駄にしたくない
- 有権者は、上のことを理解する → 早期解散が起きたら、それは政府が「無能タイプ」だからだと判断する
- 政府は、解散すると勝つ確率が低い（無能だと「思われて」いるため）
- 「無能タイプ」の政府も、早期解散しない

結論：早期解散は起こらない！



実際には、早期解散が頻繁に起こる

- 基本的な予測に反し、実際には早期解散が多い
 - 日本：任期4年、1946年から2014年までの59年間に26回の選挙（すべて任期満了なら15回のはず）
 - 英国：任期5年、1945年から2010年までの66年間に18回の選挙（すべて任期満了なら14回のはず。ただし、2011年に任期固定制議会法が成立したので、今後は解散が減るはず）
- 基本的理論と現実の齟齬の原因は？

→ より詳細な理論へ

早期解散を選択する理由



- ① 政権の支持率が非常に高い：解散を先に延ばしても得しない
- ② 有権者が忘れっぽい：現在（選挙のときまでに忘れ去られる）はうまくいっているが、将来（選挙直前）は失敗するリスク
- ③ 不意打ちができる：任期満了が近づくほど、野党の選挙準備が整ってしまう
- ④ 有権者が「愚か」：有権者が「政権無能シグナル」に気づかない

最適停止問題としての選挙



Kayser, Mark A. (2005) "Who Surfs, Who Manipulates? The Determinants of Opportunistic Election Timing and Electorally Motivated Economic Intervention." *APSR* 99(1): 17–27.

- 最適停止問題：いつ辞めるのが最も得か？
- 政府が直面する選択：現在の議席率を維持するか、新たな議席率を得るために解散するか
- 新たな議席率が大きくなる確率が高いほど、選挙を選びやすい
- 現在の議席率が大きいの：選挙を延期するインセンティブ
- しかし、永遠に延期することはできない（任期がある）→ 任期満了が近づくと、選挙を選ぶ閾値が下がる

前回選挙からの経過時間が短いほど、「景気に乗った」解散になりやすい

2014 年の衆議院解散



安倍首相：「11月21日に衆議院を解散」「増税先送りについて信を問う」（2014年11月18日記者会見）

政治経済学の理論から、どのようなことが言えそう？

- 景気は悪い（当時の GDP 速報値：-1.6%）：「波乗り」ではなさそうに見える
- 内閣支持率は？
- 安倍内閣の政権運営能力は？
- 野党の選挙準備の状況は？
- 有権者の特性は？
- 予測された議席率の変化は？ 実際は？

来週の内容



財政赤字

- 財政赤字が続くのはなぜか？
- その政治的理由は？